



上条地区の突き上げ形養蚕民家集落（山梨県 甲州市）

写真：米山 淳一

－ イベントのご案内 －

歴史を生かしたまちづくりセミナー

「今を生きる古民家の保存と活用」

保存と活用について、全国各地の事例に学ぶ

●セミナー

- 【日時】2015年2月21日(土) 13:30 (受付 13:00)
- 【会場】神奈川県本庁舎 3階大会議室 (旧議場)
(横浜市中区日本大通1)
- 【記念講演】「女手一つで甦らせた茅葺民家」村上和子氏
(岩手県指定文化財村上家当主)
- 【基調講演】「神奈川県に残る古民家」大野敏氏 (横浜国立大学教授・公益社団法人横浜歴史資産調査会理事)
- 【パネリスト】村上和子氏 (岩手県指定文化財村上家当主)、大野敏氏 (横浜国立大学教授・公益社団法人横浜歴史資産調査会理事)、清水靖枝氏 (横浜市長屋門公園館長※横浜市認定歴史的建造物：旧大岡家長屋門・旧安西家住宅主屋)、飯田助友氏 (横浜市指定文化財飯田家当主)、吉村徳男氏 (福島県下郷町大内宿屋根葺き師)
- 【コーディネーター】・米山淳一 (公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事・事務局長)
- 【費用】資料代 1000円

●お申込み

- 【申込締切】2月18日
- 【申込 URL】
<http://urx2.nu/gA0B>

村上家住宅
写真：米山 淳一



シルクロードネットワーク・横浜フォーラム

「シルクロードでつなぐ街と人」

近代日本を牽引した財力の根底には絹貿易による収益があげられます。明治中期には世界の絹市場の約7割を我が国の生糸が占めていました。生糸貿易の拠点となった横浜と連携した絹のルーツを辿ると、関東甲信越から東北に広がり、歴史的建造物が今も息づいています。絹文化の足跡を振り返り、文化遺産として将来へ継承していくことを目的に関係市町村や市民団体と連携してシンポジウムを企画しています。

●見学会「横浜市中区本町界隈の絹遺産を巡る」

- 【日時】2015年3月14日(土) 14:30-16:30
- 【集合場所】横浜市開港記念会館正面入口 (横浜市中区本町1-6)
- 【費用】600円【交流会】17:30-19:30 交流会 (費用別途)

●セミナー

- 【日時】2015年3月15日(日) 11:00-16:00 (受付 10:30)
- 【会場】横浜市開港記念会館
- ・講堂：講演会・全国の事例報告
- ・1号室：全国の事例パネル展示・物産販売
- 【記念講演】(仮)「絹の歴史と文化・原三溪」川幡留司氏 (公益財団法人 三溪園保勝会)
- 【基調講演】「横浜の絹関連建造物の魅力」吉田鋼市氏 (横浜国立大学名誉教授・公益社団法人横浜歴史資産調査会副会長)
- 【事例報告】上田市、岡谷市、甲州市、他
- 【申込締切】3月9日【申込 URL】<http://urx2.nu/gA1c>
- 【費用】900円

♪ピアノが案内する横浜の歴史とまち vol. 4♪

シルク貿易で栄えた横浜にちなんだ曲が横浜山手の華やかな洋館に響きます。

- 【日時】2015年3月23日(月) 19:00~20:30 (開場 18:30) 【会場】横浜市イギリス館 (横浜市中区山手町115-3)
- 【ゲスト】後藤泉氏【曲名】ベートーヴェン：ピアノソナタ第17番「テンペスト」、J. シュトラウス：南国のバラ、他。
- 【参加費】一般3,000円、会員2,500円 【申込締切】3月13日【申込 URL】<http://urx2.nu/gCKm>

生糸産業と横浜、そして原三溪

富岡製糸場（群馬県）が世界遺産になり、観光客が押し寄せている。日本の製糸の歴史に注目が集まるのは大いに歓迎するが、日本の製糸業は富岡だけではもちろんない。なのに富岡以外はあまり知られていないのは残念なことだ。

たとえば長野県。ここにもさまざまな製糸関係遺産がある。しかし忘れられてしまうのではないかと長野県の人が心配していた。

横浜も製糸に関係が深い。だが横浜は近代都市だ、ということしか知らず、製糸に関係があることを忘れて人が多いのではないかと。富岡が世界遺産になったとき、横浜も生糸ゆかりの都市だと気付いた人がどれだけいたのだろうか。

たとえば、取り壊して話題になった旧三井物産倉庫がそのひとつだ。日本の各地から集められた生糸がミナト横浜から輸出され、その関連建造物として大切な存在なのにすっかり忘れられている。生糸検査場がある、ということに気付けば、そうか、横浜も生糸に関係があったのだな、と思う人もあるだろう。横浜は言わば日本のシルクロードの終着点だった。

もうひとつ、忘れてならないのは原三溪富太郎のことだ。彼が生糸産業の人だったことはよく知られているだろう。だが、これは不思議といってもよいが、原三溪が生糸産業のひとつだとは知っていても、横浜が生糸産業の町だと思っている人は意外に少ない。

横浜で原三溪というと、美術品収集者としてよく知られている。そしてもうひとつ、本牧の三溪園を造った人としても知られているだろう。茶人として、数寄者として知っている人がいるかもしれない。

三溪園は、原三溪の自邸とその庭である。三溪（慶應4年・1868 生まれ、昭和14年・1939 没）は、養祖父原善三郎の死去（明治32年）のあと原家を継ぎ、今の三溪園の地に善三郎の持っていた敷地を受けて自邸と庭を整備した。明治35年頃のこととされている。明治39年には庭の一部（外苑部分）を公開した。以後横浜市民に親しまれている。自邸が完成して住み始めるのは明治42年9月24日であった。

旧天瑞寺寿塔覆堂（明治35年京都大徳寺内から移築、同38年完成）、

西 和夫（神奈川大学名誉教授）

臨春閣（明治38年ころ入手、大正6年完成）、聴秋閣（大正11年移築）など優れた建物を各地から次々に移築し、現在、まるで建築博物館のようだとされている。いずれも現地では維持できなくなったものを引き取り、見事に再生させた。三溪は優れた建築を見分ける力を持っていた。古美術と同様に建築も好きだと書いている彼は、独自の審美眼のもとに建築を生き返らせ、庭と一体になった素晴らしい三溪園を造りあげた。

それを可能にしたのが彼の経済活動だったことはいうまでもない。だから、広い意味では、三溪園も横浜の生糸産業に関連したものと理解して差し支えない。こう考えれば横浜はますます生糸産業の都市なのである。

横浜を近代化だけに結びつけて見ていては歴史理解として不十分である。旧物産倉庫ひとつ残せないような町でこれをいくら叫んでも無駄だと言われてしまいそうだが。

※西和夫先生は本年1月3日急逝されました。

ご冥福をお祈りいたします。



臨春閣

写真：上村耕平



聴秋閣

写真：上村耕平

見逃されている群馬の養蚕集落

平成 26 年、日本の絹産業遺産の代表として「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産登録となり、連日、遺産群は見学者で賑わっております。群馬県では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」を中心として、国内各地の絹産業遺産との連携を目指すとの動きを始めています。先日、埼玉県深谷市の渋沢栄一の生地「中の家」、富岡製糸場初代場長尾高惇忠生家を見学してきました。深谷市では、二人に加え、工事を担当した葺塚直次郎を「富岡製糸場と深谷の三偉人」として喧伝しています。今は、世界遺産を中心に絹産業遺産が取り上げられるのは、やむを得ないと思いますが、そこばかりを見ていると、重要な絹産業遺産・絹文化を見落とすのではないかと感じています。

私が暮らしている群馬県は、かつて、長野県や福島県などと並んで、全国有数の養蚕・製糸が盛んな地域でした。昭和 40 年代まで、群馬の中山間村の集落の殆どは、養蚕民家で形成された、養蚕集落ばかりと言っても過言ではないでしょう。六合村赤岩地区（現中之条町）は国重要伝統的建造物群保存地区に選定されましたが、それに匹敵するような集落が現存しています。埋もれてはいますが、養蚕民家、集落とも全てが貴重な絹産業遺産です。

中村 武（NPO 法人 街・建築・文化再生集団）

群馬県の北部に昭和村があります。赤城山西北麓の、利根川と片品川に挟まれた、8 段とも言われる雄大な河岸段丘上に拓けた村落です。県内で農業が生業として成り立っている数少ない村でもあり、村では「野菜王国」として売り出しています。上部の河岸段丘は野菜畑で、ちょうど北海道のような雄大な景観です。主な集落は、下部の段丘の古い街道に沿った所にあり、県内でも有数の茅葺きの大型養蚕民家と元は板葺きと思われる大型で総 2 階の養蚕民家が混在した集落が、自然環境と共に貴重な歴史景観を残しています。養蚕民家の残存数は全国一と言っても過言ではないと思います。あまり知られていませんが、全村域が集落景観を含め「日本の最も美しい村」連合に加盟しています。平成 25 年に横浜市とは友好・交流協定を締結しております。

養蚕民家はその時代、時期に応じた農民の生活文化の発露として生まれたものであり、その形態は一様ではなく、地域によって様々な形態と特性を持ちます。是非、絹産業の最上流である群馬の養蚕集落に訪れて下さい。日本の近代化を下支えした力を感じることが出来ると思います。



-「歴史を生かしたまちづくり相談室」開設しています！-
保存活用に関して11件の相談が寄せられ、神奈川県へのヘリテイジマネージャー卒業生の他、専門家らが相談や調査を行っています。
お気軽にご相談ください。

ヨコハマヘリテイジでは、横浜市と連携し、「歴史を生かしたまちづくり相談室」を開設しています。主に歴史的建造物の所有者を対象として、専門家や関係活動団体、行政が連携し、具体的な対応策について提案していきます。

相談室開設以来（2014年9月）のこれまでに11件の相談が寄せられ、調査等を行いました。歴史的建造物に関する相談がございましたら是非、ヨコハマヘリテイジまでお寄せ下さい。

【相談方法】

ヨコハマヘリテイジのホームページ上にある必要事項を記入の上、郵送、ファクシミリにより公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）にお申込みください。また、毎週水曜日には電話による相談も受け付けます。

【相談内容の一例】

- ・自宅は古いですが、歴史的価値があるのか分からないので調べてほしい。
- ・歴史的建造物の改修を任せられる腕の良い職人を教えてほしい。



※調査中の様子

2015年、ヨコハマヘリテイジは本年も様々な活動を展開いたします。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



碓氷峠第三橋梁（群馬県安中市）※重要文化財

公益社団法人 横浜歴史資産調査会
（ヨコハマヘリテイジ）一同



ヨコハマヘリテイジファンへの ご寄付をお願い致します！

ヨコハマヘリテイジでは、横浜をはじめとした国内の歴史的資産の保存活用に向けて、皆様のご寄付をお願いしております。各地に眠っている歴史的資産を地域の宝、日本の宝、世界の宝として、将来に渡り受け継いでいくために、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ご寄付を頂いた方には、個人の皆さまには、所得税等の控除に使える免税証明書、法人の皆さまには法人税の控除に使える税額控除証明書を発行致します。また、金額に応じた記念品を贈呈致します。

【2015年度 賛助会員の皆様】

いつもご支援をありがとうございます



お菓子を通じて横浜の歴史文化を継承します。株式会社 三陽物産

公益財団法人 はまぎん産業文化振興財団



相鉄企業株式会社

横浜市大倉山記念館

【1口～9口】（1,000円～9,000円）1～9セット

- ・都市の記憶-横浜の主要歴史的建造物第6版
- ・山手の西洋館-外国人居留地の歴史的景観



【10口】（10,000円）下記を1セット

- ・横浜●開港の舞臺-関内街並復元絵圖（長さ：10メートルの絵巻物）絶版品 60限定
- ・都市の記憶-横浜の主要歴史的建造物第6版
- ・山手の西洋館-外国人居留地の歴史的景観



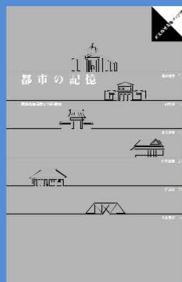
ヨコハマヘリテイジは免税団体です

歴史的資産の保存活用を推進するために、皆様のご寄付をお願いしております。ご寄付を頂いた方には、免税証明証を発行いたします。確定申告の際に、控除となります。

ヨコハマヘリテイジ刊行物のご案内

お求めは下記連絡先の事務局までご一報ください。

- 都市の記憶-横浜の主要歴史的建造物第6版 定価：700円（税込）
- 都市の記憶-横浜の土木遺産 定価：1,200円（税込）
- 横浜の歴史を生かしたまちづくりの25周年 頒布価格：1,500円（関内地区 25棟の歴史的建造物のカード付き）



A



B



C

【ヨコハマヘリテイジスタイル 2015 新春号】 平成27年1月発行

公益社団法人 横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号
tel: 045-651-1730 mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp